東　淀　川　区　医　師　会
第３回健康づくり教室のご案内

上腹部が痛いときに胃が痛いと感じます。しかし、上腹部痛は胃だけの病気でないことがあります。胆のう、膵臓の病気や血管の病気の場合もあります。今回、胃腸の病気について説明し、上腹部痛を起こす病気についてもお話しします。

上腹部正中に出現する痛みで強く激しい痛みが出現する場合は胆のう結石や膵炎による痛みの場合があります。同じ部位の痛みでもゆっくりと鈍く痛みが出現する場合は胃潰瘍や十二指腸潰瘍の場合があります。血圧が高く腹痛が出現する病気には腹部大動脈瘤があります。

胆のう結石や膵炎では経口薬で治療するとともに食事で脂肪を制限する必要があります。痛みが強い場合や再び腹痛が出現する可能性がある場合は手術で治療します。胃潰瘍や十二指腸潰瘍は経口薬で治療するとともに、ヘリコバクター・ピロリ菌を除菌します。腹部大動脈瘤は血圧を下げる薬で悪化しないようにします。破裂しそうなときには手術が勧められます。

胆のう癌、膵臓癌、胃癌については早期発見が大事です。腹部超音波検査や腹部レントゲン、胃透視・胃カメラ、血液検査などを組み合わせて診断します。胃癌健診では胃透視検査が行われます。しかし、胆のう癌や膵臓癌、腹部大動脈瘤などの健診は行われていません。これら疾患は腹部超音波検査で発見することが可能です。高血圧や腹部の体調に不安がある場合は簡単な腹部超音波検査を受けてみてはいかがでしょうか？

記

日時：**平成２８年６月８日（水）午後２時～**

会場：**東淀川区医師会館　３階講堂**　豊新２－３－７

演題：**『胃が痛くなるのはどんな病気？』**

講師：**山本クリニック　院長**
東淀川区医師会　理事　山本　一成　先生

※参加ご希望の方は事前に東淀川区医師会までお電話にてお申込下さい。
電話　６３２０－２２２６
※入場は無料です。

主催：東淀川区医師会
参画：健康づくり区民会議